

平成 29 年 12 月 1 日

神戸製鋼および三菱マテリアルで発覚した部材の強度データ偽装が  
伊方原発を構成する部品に及ぶかの徹底的な調査を求める請願

愛媛県議会 議長 毛利 修三 殿

原発さよなら四国ネットワーク  
小倉 正 印  
愛媛県松山市#####

紹介議員

(直筆サイン) 田中 克彦  
武井 多佳子  
村上 要

**【請願の要旨】**

神戸製鋼のデータ偽装問題は、続く三菱マテリアルが起こした同様の問題とともに、日本の部品／素材メーカーの品質管理に「性善説」が適用できないという重大な課題をつきつけている、と新聞で言われ始めています。

そして四国電力としては 11 月 14 日現在、伊方 3 号機の最重要機器である圧力容器構成部材については、溶接棒（溶接時に溶かして使う）以外の使用歴はなく、それも当該のデータ偽装を行った工場の製品ではない、と神戸製鋼から伝えられていることから、問題がないかのような説明を原子力規制委員会に提出しています。（三菱マテリアルは、直接製品を四国電力には納入していないようですが、間接的な使用(他メーカー製品の部品としての納入)については、まだこれから調査を行うようです。）

しかし、この時点での神戸製鋼側の調査は、データ偽装工程のあった工場から出荷された、直近 1 年間（2016 年 9 月以降）の製品についての調査であること、なかでも圧力容器を構成する最重要機器についてのみ限定していることから、不正の全体像が明らかになっていない現在、問題点が後から掘り起こされて明らかになる可能性があります。

伊方原発 3 号機同様に神戸製鋼の製品を使用している九州電力玄海原発 3 号機では、311 以降の長期運転停止後初めてとなる再稼働を来年初めに予定していましたが、更なる調査のために 1 ヶ月以上運転開始を延期することを発表しました。（佐賀新聞 11 月 23 日）

この玄海原発でも、問題の起こった工場の製品が使われているわけではないと公表した後、調査のための延期の発表をしています。調べるからこそが電力会社のなすべきことです。

**【請願事項】**

神戸製鋼および三菱マテリアルで発覚した部材の強度データ偽装が、伊方原発 3 号機を構成する部品に及ぶかどうかを解明するため、徹底的な調査を行うよう、四国電力に求めてください。